

岡谷市 出早公園 神社境内のモミジ祭りが終わりました。10月28日

諏訪湖の標高が759m。この公園の標高が850mほどです。諏訪湖周辺に比べると紅葉は早いほうです。これから岡谷市内も紅葉が次第に美しくなります。

今日は台風が過ぎた後の秋晴れに恵まれ、人出も最高でした。雰囲気だけでも味わってください。





祭り弁当を予約していたら地酒のサービスまでありました。やや飲み過ぎて顔もモミジ色になってしまいました。帰りに諏訪湖を見下ろしたら富士山も遠望できました。富士山の写真は望遠レンズで撮ったものです。実際はもっと小さく見えます。

この付近は季節がかわるとまた違った趣もあります。折を見て紹介します。

信州もみじ坊主より

# 紅葉めで友好の宴

岡谷と下諏訪  
の関係者らが 出早公園で観楓会

10月29日 岡谷新聞より

第五十回出早公園観楓会が秋晴れの28日、岡谷市長地出早の同公園で開かれた。湖北地区の各界代表者、地元区住民ら約320人が、ようやく色付き始めた紅葉をめでながら、善隣友好の輪を深めた。

岡谷、下諏訪の両市町と観光協会、同公園の草木の維持管理に大正時代からかかわる愛機会（山田清高会長）の主催で、昭和33年から続いている交流会。岡谷市にとっては四月に招かれる下諏訪町水月公園の観桜会の返礼の意味もある。

今井竜五市長は、「観光も広域の対応が求められている時代。下諏訪町の観光と、岡谷市のものづくり体験の産業観光をセットにした新しい観光のルートができれば。今後も交流、協力の輪が広がることを願っている」とあいさつ。下諏訪町の青木悟町長は、「観光連携は妻で、岡谷市と下諏訪町が連携を深めながら発展をしていかななくては」と応えた。

杉村修一市議会議長の音頭で乾杯。横川区子ども会育成会の木やり、長持ち、子ども笠踊りなどの余興を楽しみながら杯を傾け、大いに歓談、情報交換をして親ぼくを深めた。

この日は休日とあって、県内外から多くの観光客が訪れた。愛楓会は湯茶の接待や、そば落雁（らくがん）の販売などで歓迎。小萩神社神楽殿では、裏千家淡交会諏訪青年部会員らが立礼席でお点前を披露した。境内で長持ちと花笠踊りを披露した横川区子ども会育成会（前田長久会長）は、花笠踊りと長持ちを区内で練り歩き、元気いっぱいの姿に声援と拍手が寄せられた。